

2020年9月3日

各位

NPO 法人北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会
代表理事 大熊 薫

北海道を核のゴミ捨て場にしないことを強く求める署名の協力のお願い

日頃より、ご協力いただき心より感謝致します。

私たち生活クラブ運動グループは、核も原発もない社会を次世代につなぐため、泊原発建設に反対するとともに、幌延、北海道を核のゴミ捨て場にしてはいけないと、36年にわたり一貫して高レベル放射性廃棄物の深地層処分施設建設反対など多くの市民と連帯し活動を続けています。

このような中、8月13日の新聞報道で、高レベル放射性物質（核のゴミ）の最終処分場選定の「文献調査」に、寿都町長が応募を検討していることを知り驚愕しました。北海道は豊かな自然環境を有しており、食糧自給率200%を誇っています。核のゴミ受け入れは、寿都町のみならず、ひいては北海道全体に甚大な影響を与えることから、18日、寿都町長に対し「文献調査」への応募を行わないこと等を強く求める緊急要望書を提出しました。25日には、北海道知事に対し、核のゴミの持ち込みは「受け入れがたい」とする北海道条例を遵守し、寿都町においては「最終処分場選定の文献調査」に応募しないよう引き続き働きかけること、及び、将来にわたって北海道内に最終処分場を受け入れないことを表明することを強く求める緊急要望を提出しました。

今回の北海道知事あての署名は、北海道民の10万年先までの環境への影響や子孫の安全な暮らしを脅かす、高レベル放射性廃棄物の深地層処分に意義を申し立てる内容となっています。寿都町だけではなく、道北の幌延町での深地層処分研究施設への最終処分地候補としての危惧から、2019年12月に知事が研究延長の受け入れを表明したことにも即時撤回を求め、2つのことを要望するものです。

ぜひ、一筆でも多くの声を届けられるようご協力お願いいたします。集約は9月末を第1次、10月末を最終とします。随時、回収の機会に手渡し、返送などお願いいたします。ホームページからも署名用紙をダウンロードできます。

特定非営利活動法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目1-15 サラサビル4階A号室

TEL 011-596-0650 FAX 011-596-0561

e-mail wco28@athena.ocn.ne.jp

URL <http://hokkaido-workers.org>